

(1時間:45分)

授 業 科 目	必須/選択の別	学年	標準時間数
Linux	必須	3	30
Linuxサーバ技術	〃	3	60
実践Javaプログラミング	〃	3	120
課題解決	〃	3	60
プレゼンテーション演習	〃	3	30
英語3	〃	3	20
プログラミング言語の仕組み	〃	3	30
企業経営の仕組み	〃	3	30
ネットワークシステム論	〃	3	30
データベースシステム論	〃	3	30
画像システム論	〃	3	30
流通システム論	〃	3	20
経営情報システム論	〃	3	20
ソフトウェア工学基礎論	〃	3	30
ソフトウェア工学応用論	〃	3	30
小計			570
総合情報処理3-2(レベル2)	必須選択 ※1	3	60
総合情報処理3-2(レベル3)	〃	3	60
総合情報処理3-2(レベル4)	〃	3	60
自主課題研究3-2	〃	3	60
総合情報処理4(レベル2)	〃	3	180
総合情報処理4(レベル3)	〃	3	180
総合情報処理4(レベル4)	〃	3	180
自主課題研究4	〃	3	180
総合情報処理5-1(レベル2)	〃	3	100
総合情報処理5-1(レベル3)	〃	3	100
総合情報処理5-1(レベル4)	〃	3	100
自主課題研究5-1	〃	3	100
小計			340
必須科目計			910

※1 必須選択は、各太枠内から1科目選択する。

大学併修科3年 授業科目のシラバス一覧

科目番号	科目名	実務経験者 による授業	履修 年次	単位 時間数	時間数 (90分)	科目概要
シスH - 3 011	Linux	-	3年	30	15	サーバOSとして高いシェア率のLinuxについて、講義・実習問題を通して知識と基本操作を習得する。
H - 3 101	Linuxサーバ技術	-	3年	60	30	Linuxシステムの構築・運用・管理について、テキストや模擬問題に加え、マシンでの演習を行うことで知識と技術の定着を図る。また、LPI Level1 Exam 102、およびLinuC Level1 Exam 102の取得を目指す。
H - 3 113	実践Javaプログラミング	○	3年	120	60	Javaプログラミングの作業を通して、Javaの概要を理解するとともに、オブジェクト指向プログラミングの考え方を学ぶ。 なお、本科目はIT企業でシステム開発に携わった実務経験を持つ講師が、幅広い知識と経験を活かして授業を行う。
H - 3 106	課題解決	-	3年	60	30	ビジネス実務において用いられるロジックツリーなどのフレームワークをもとに、課題解決の進め方について学ぶ。また、大学科目のレポート課題等を題材とし、論理的な課題解決に関する演習を行う。
H - 3 811	プレゼンテーション演習	-	3年	30	15	個人・グループワークを通して、テーマを決め調査した情報を収集し整理活用できるドキュメント作成手順を学習し、自分の結論を理論的に説明できるプレゼンテーション技法を学ぶ。
H - 3 104	英語3	-	3年	20	10	世界的に有名な事物、人物を英語で学習し日本語に翻訳するなど英問英答(英語による質問に英語で記述回答)ができるよう読解力を学ぶ。
H - 3 132	プログラミング言語の仕組み	-	3年	30	15	プログラミング言語一般が記述の対象とするデータ構造と制御構造について学習する。さらに、プログラムを部品(モジュール)から組み立てるための技術についても学ぶ。
H - 3 107	企業経営の仕組み	-	3年	30	15	事業を成功させる方針(情報技術の活用、人事制度、資金調達、投資方法)を学習し、経営の基礎となる企業(会社)運営のしくみを学ぶ。
シス - 3 128	ネットワークシステム論		3年	30	15	交通路ネットワークや物流ネットワークの構造や機能を学習し、現代社会システムの基盤をなす情報通信ネットワークの種類や構成、機能について学ぶ。

大学併修科3年 授業科目のシラバス一覧

科目番号	科目名	実務経験者 による授業	履修 年次	単位 時間数	時間数 (90分)	科目概要
HR - 3 126	データベースシステム論	-	3年	30	15	リレーショナル型データベース管理システム(RDBMS)の基本概念、データベースの設計手法、操作方法を学習し、データベースを使いこなすための基本知識と基本技術を学ぶ。
H - 3 105	画像システム論	-	3年	30	15	マルチメディア表現としての図形や画像・動画像の特質について学習(色の表現法、画像ファイルの特徴、アニメーションとシミュレーションの違い等)し、webブラウザ上において図形・画像が適切に処理・表現する手順を学ぶ。
H - 3 139	流通システム論	-	3年	20	10	小売業の大規模化と発展によって、メーカーによる統制で作られた流通システムがどのように変化してきたのかを学ぶ。 なお、前半はメーカーの流通活動を中心に学習し、主に自動車・家電・医薬品・書籍など、特徴的な仕組みを持つものを取り上げる。後半は小売業の経営を業態別に学習し、主に百貨店・スーパー・コンビニエンスストア・専門量販店などの身近な業態を取り上げる。
H - 3 108	経営情報システム論	-	3年	20	10	情報処理に関する基礎概念(エンドユーザコンピューティング(EUC)ツールの活用)や経営学的な観点から情報システム(MIS)の理論的フレームワークを学習し、MISを基盤とした経営戦略について理解する。
H - 3 125	ソフトウェア工学基礎論	-	3年	30	15	ソフトウェア開発の課題に対処する要素技術(オブジェクト指向技術、クリーンルーム手法、リポジトリ)を学び、課題に対する方向性や基本的な考え方を学習する。
H - 3 124	ソフトウェア工学応用論	-	3年	30	15	ソフトウェア工学基礎論の内容を発展させて、大規模なソフトウェア・システム開発に適用されるソフトウェア工学の実践的な適用技術について学ぶ。
H - 3 115	総合情報処理3-2(レベル2)	-	3年	60	30	総合情報処理3-1 レベル2の継続科目で、経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル2:「基本情報技術者試験(レベル2)」シラバスに準拠した知識を習得する。
H - 3 116	総合情報処理3-2(レベル3)	-	3年	60	30	総合情報処理3-1 レベル3の継続科目で、経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル3:「応用情報技術者試験(レベル3)」シラバスに準拠した知識を習得する。
H - 3 117	総合情報処理3-2(レベル4)	-	3年	60	30	総合情報処理3-1 レベル4の継続科目で、情報セキュリティスペシャリスト試験の後継となる試験で情報セキュリティに関する高度な知識・技能(スキルレベル4)を認定する試験である情報処理安全確保支援士試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル4:「情報処理安全確保支援士試験(レベル4)」シラバスに準拠した知識を習得する。

大学併修科3年 授業科目のシラバス一覧

科目番号	科目名	実務経験者 による授業	履修 年次	単位 時間数	時間数 (90分)	科目概要
H - 3 109	自主課題研究3-2	-	3年	60	30	自主課題研究3-1の継続科目で、各自設定したテーマにもとづいて創作(学習)活動をする。学習した内容を総合的に活用し、社会人として実践的に活用可能なテーマを個人ごとに設定し、創作(学習)活動をする。 ① 過去に習得したゲーム開発技術を応用し、自分のスキルをアピールすることができる作品の制作を目指す。 ② 高度種等の国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供する目標資格シラバスにもとづいて、各自スケジュールを管理して学習する。
H - 3 118	総合情報処理4(レベル2)	-	3年	180	90	経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル2:「基本情報技術者試験(レベル2)」シラバスに準拠した知識を習得する。
H - 3 119	総合情報処理4(レベル3)	-	3年	180	90	経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル3:「応用情報技術者試験(レベル3)」シラバスに準拠した知識を習得する。
H - 3 120	総合情報処理4(レベル4)	-	3年	180	90	情報セキュリティスペシャリスト試験の後継となる試験で情報セキュリティに関する高度な知識・技能(スキルレベル4)を認定する試験である情報処理安全確保支援士試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル4:「情報処理安全確保支援士試験(レベル4)」シラバスに準拠した知識を習得する。
H - 3 110	自主課題研究4	-	3年	180	90	学習した内容を総合的に活用し、社会人として実践的に活用可能なテーマを個人ごとに設定し、創作(学習)活動をする。 ① 過去に習得したゲーム開発技術を応用し、自分のスキルをアピールすることができる作品の制作を目指す。 ② 高度種等の国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供する目標資格シラバスにもとづいて、各自スケジュールを管理して学習する。
H - 3 121	総合情報処理5-1(レベル2)	-	3年	100	50	経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル2:「基本情報技術者試験(レベル2)」シラバスに準拠した知識を習得する。
H - 3 122	総合情報処理5-1(レベル3)	-	3年	100	50	経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル3:「応用情報技術者試験(レベル3)」シラバスに準拠した知識を習得する。
H - 3 123	総合情報処理5-1(レベル4)	-	3年	100	50	情報セキュリティスペシャリスト試験の後継となる試験で情報セキュリティに関する高度な知識・技能(スキルレベル4)を認定する試験である情報処理安全確保支援士試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル4:「情報処理安全確保支援士試験(レベル4)」シラバスに準拠した知識を習得する。
H - 3 111	自主課題研究5-1	-	3年	100	50	学習した内容を総合的に活用し、社会人として実践的に活用可能なテーマを個人ごとに設定し、創作(学習)活動をする。 ① 過去に習得したゲーム開発技術を応用し、自分のスキルをアピールすることができる作品の制作を目指す。 ② 高度種等の国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供する目標資格シラバスにもとづいて、各自スケジュールを管理して学習する。

科目番号：シス H-3011

科目名		時間数(90分)			
Linux		講義	演習	実習	合計
				15	15
科目概要	サーバOSとして高いシェア率のLinuxについて、講義・実習問題を通して知識と基本操作を習得する。				
学習到達目標	Linuxの概念を理解するとともにコマンドの使い方を習得することで、実際のサーバを操作できるスキルを習得する。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	Linuxの概要	13	総合実習	
	2	ユーザ管理	14		
	3	プロセス	15	科目試験	
	4	ファイルシステムとディレクトリの操作			
	5	パーミッション			
	6	シンボリックリンクとパス指定			
	7	エディタ (vi)			
	8	エディタ (jvim)			
	9	ネットワークとバックアップ関連コマンド			
	10	シェル			
	11	シェルの操作			
	12	シェルスクリプト			
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	改訂 基礎から学ぶLinux	SCC		
実習環境	Tera Term				
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	・科目試験 (100%)		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号 : H-3101

科目名		時間数(90分)				
Linux サーバ技術		講義	演習	実習	合計	
		20	10		30	
科目概要	Linux システムの構築・運用・管理の知識について、テキストや模擬問題に加え、マシンでの演習を行うことで知識と技術の定着を図る。また、LPI Level1 Exam 101、およびLinuC Level1 Exam 101 の取得を目指す。					
学習到達目標	Linux システムの構築・運用・管理の内容を理解する。また、LPIC、およびLinuC のLevel1 Exam 101 に相当する知識と技術を習得する。					
講義計画	回	内容		回	内容	
	1 ～ 5	システムアーキテクチャ ハードウェアの基本知識と設定、Linux の起動とシャットダウン、SysVinit、systemd		16 ～ 20	ファイルとプロセスの管理 基本的なファイル管理、パーミッションの設定、ファイルの所有者管理、ハードリンクとシンボリックリンク、プロセス管理、プロセスの実行優先度	
	6 ～ 10	Linux のインストールとパッケージ管理 ハードディスクのレイアウト設計、ブートルoaderのインストール、共有ライブラリ管理、Debian パッケージの管理、RPM パッケージの管理		21 ～ 25	デバイスとLinux ファイルシステム パーティションとファイルシステムの作成、ファイルシステムの管理、ファイルシステムのマウントとアンマウント、ディスククォータの管理、ファイルの配置と検索	
	11 ～ 15	GNU&UNIX コマンド コマンドライン操作、パイプとリダイレクト、テキスト処理フィルタ、正規表現を使ったテキスト検索、vi エディタ		26 ～ 29	資格試験対策	
				30	科目試験	
使用教材	書籍名			出版社		
	主教材	Linux 教科書 LPIC レベル 1 Version5.0 対応		翔泳社		
	副教材					
実習環境						
目標資格	資格名			実施団体		
成績評価方法	・科目試験 (100%)			<評価基準> 100～90点 : 秀 89～80点 : 優 79～70点 : 良 69～60点 : 可 59点以下 : 不可		

科目番号：H-3113

科目名		時間数(90分)			
実践 Java プログラミング		講義	演習	実習	合計
		10	25	25	60
科目概要	<p>Java プログラミングの作業を通して、Java の概要を理解するとともに、オブジェクト指向プログラミングの考え方を学ぶ。</p> <p>なお、本科目は IT 企業でシステム開発に携わった実務経験を持つ講師が、幅広い知識と経験を活かして授業を行う。</p>				
学習到達目標	<p>オブジェクト指向の特徴とメリットを理解し、Java でデータベースにアクセスするプログラムを作成し簡単な Web システムを構築できるスキルを身に付ける。</p>				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1 ～ 7	<p>環境構築</p> <p>Java 入門復習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合環境のインストール ・オブジェクト指向プログラミングの基本を復習 	32 ～ 35	<p>コンストラクタ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動的に起動する仕組みを説明 	
8 ～ 11	<p>オーバーロード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ名前のメソッドの動きを説明 	36 ～ 40	<p>Java プログラムの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Java の応用機能を使ったプログラムを作成 		
12 ～ 15	<p>継承</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスの親子関係を説明 	41 ～ 44	<p>クラスライブラリ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Java の各種クラスの機能を説明 		
16 ～ 19	<p>オーバーライド</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じメソッドを複数作成した場合の動きを説明 	45	<p>評価試験</p>		
20 ～ 23	<p>抽象クラス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスの枠組みを作成 	46 ～ 60	<p>演習課題 (Bean、Collection、DB アクセス)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Bean、Collection クラスの作成 ・OracleDB への接続方法を学ぶ 		
24 ～ 27	<p>インターフェース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスを構築するための雛型として機能することを説明 				
28 ～ 31	<p>ポリモフィズム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ名前のメソッドを呼び出して、異なる動きができることを説明 				
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	オブジェクト指向プログラミングの教科書	SCC		
	副教材				
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・課題提出 (50%) ・科目試験 (50%) 		<p><評価基準> 100～90点：秀</p> <p>89～80点：優</p> <p>79～70点：良</p> <p>69～60点：可</p> <p>59点以下：不可</p>		

科目番号：H-3106

科目名		時間数(90分)			
		講義	演習	実習	合計
課題解決		5	25		30
科目概要	ビジネス実務において用いられるロジックツリーなどのフレームワークをもとに、課題解決の進め方について学ぶ。また、大学科目のレポート課題等を題材とし、論理的な課題解決に関する演習を行う。				
学習到達目標	現状を認識する上で必要となる情報収集力や、それを要約して報告書としてまとめる能力、課題解決に結びつけるための問題把握力、論理思考力を身に付ける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	現状の把握と整理			
	2 ～ 5	レポート作成と フィードバック			
	6	意見のまとめ方・論理構成			
	7 ～ 10	レポート作成と フィードバック			
	11	問題の認識と原因分析			
	13 ～ 18	レポート作成と フィードバック			
	19 20	課題解決策・ロジカルシンキング			
	21 ～ 30	レポート作成と フィードバック			
	使用教材	書籍名		出版社	
主教材		配布資料			
副教材					
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	・課題提出(100%)		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号 : H-3811

科目名		時間数(90分)			
		講義	演習	実習	合計
プレゼンテーション演習		2	13		15
科目概要	個人・グループワークを通して、テーマを決め調査した情報を収集し整理活用できるドキュメント作成手順を学習し、自分の結論を理論的に説明できるプレゼンテーション技法を学ぶ。				
学習到達目標	PowerPoint を用いて、効果の高いプレゼンテーション用スライドの作成と発表技法を身に付ける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	科目概要説明 ～ プレゼンテーション概論			
	2	・プレゼンテーションとは何か? ・プレゼンテーションの作り方			
	3 ～ 5	企業紹介プレゼンテーション ・プレゼンテーションデザインシート の作成 ・スライド制作 ・リハーサル			
6 ～ 15	卒業論文プレゼンテーション ・目的、ターゲット等の説明 ・プレゼンテーションデザインシート、スライド下書きの作成&提出 ・スライドの作成 ・クラス内プレゼンテーション				
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	一生使える見やすい資料のデザイン入門	インプレス社		
	副教材				
実習環境	Microsoft Office PowerPoint 2019				
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・課題提出 (85%) ・プレゼン (15%) 		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：H-3104

科目名		時間数(90分)			
英語3		講義	演習	実習	合計
		10			10
科目概要	世界的に有名な事物、人物を英語で学習し日本語に翻訳するなど英問英答(英語による質問に英語で記述回答)ができるよう読解力を学ぶ。				
学習到達目標	英文の構造、文法の構文、単語や熟語等の英文を構成する要素を学び、英語の読解力を身に付ける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	Steve Job's Legacy 本文を全て訳し、内容を理解する 題材の深い理解に努める	8	Facebook 本文を全て訳し、内容を理解する 題材の深い理解に努める	
	2	Disney and Marvel 本文を全て訳し、内容を理解する 題材の深い理解に努める	9	第1回～第8回のまとめ	
	3	The Appeal of Aloha 本文を全て訳し、内容を理解する 題材の深い理解に努める	11		評価試験
	4	New York City 本文を全て訳し、内容を理解する 題材の深い理解に努める	13		
	5	Los Angeles 本文を全て訳し、内容を理解する 題材の深い理解に努める	15		
	6	Starbucks 本文を全て訳し、内容を理解する 題材の深い理解に努める	17		
	7	Amazon.com 本文を全て訳し、内容を理解する 深い理解に努める 題材の深い理解に努める	19		
			20		
			21		
使用教材	書籍名			出版社	
	主教材	Iconic America 知られざるアメリカの今		成美堂	
	副教材				
実習環境					
目標資格	資格名			実施団体	
成績評価方法	・科目試験(100%)			<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可	

科目名		時間数(90分)				
プログラミング言語の仕組み		講義	演習	実習	合計	
		15			15	
科目概要	プログラミング言語一般が記述の対象とするデータ構造と制御構造について学習する。さらに、プログラムを部品(モジュール)から組み立てるための技術についても学ぶ。					
学習到達目標	データ構造と制御構造の基本概念や Java におけるデータ構造と制御構造を学び、さまざまなプログラミング言語による効率的な設計とプログラミングスキルを身に付ける。					
講義計画	回	内容		回	内容	
	1	プログラムの基本的なデータ構造		16		
	2	構造化プログラミングの概念、手続きの概念、疑似言語		17		
	3	再帰と状態遷移		18		
	4	制御構造と手続きの Java による実現方法、クラスの基本		19		
	5	Java における配列の使い方		20		
	6	リスト構造、スタック、キューの Java による実現方法		21		
	7	木構造を Java で実現する方法、木構造を対象とする再帰を用いた処理の方法		22		
	8	状態遷移の Java による実現方法		23		
	9	モジュールの設計方法		24		
	10	モジュール間結合度とモジュール強度		25		
	11	モジュール設計の事例		26		
	12	形式言語		27		
	13	字句解析		28		
	14	構文解析		29		
	15	評価試験		30		
使用教材	書籍名			出版社		
	主教材	プログラミング言語の仕組み		青山社		
	副教材					
実習環境						
目標資格	資格名			実施団体		
成績評価方法	・科目試験(100%)			<評価基準> 100~90点: 秀 89~80点: 優 79~70点: 良 69~60点: 可 59点以下: 不可		

科目番号：H-3107

科目名		時間数(90分)			
企業経営の仕組み		講義	演習	実習	合計
		15			15
科目概要	事業を成功させる方針(情報技術の活用、人事制度、資金調達、投資方法)を学習し、経営の基礎となる企業(会社)運営のしくみを学ぶ。				
学習到達目標	会社など企業組織の運営方法の基本が理解できる。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1 ～ 3	事業の構築(教科書5章)			
	4 ～ 6	組織の構築(教科書6章)			
	7 ～ 8	情報技術を活用する(教科書7章)			
	9 ～ 11	人材の活用(教科書8章)			
	12 ～ 14	資金の調達と投資方法(教科書9章) 総資本コストの計算の復習			
	15	補足とまとめ			
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	日本企業と経済	札幌メディアサービス		
	副教材				
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	・課題提出(100%)		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：シス-3128

科目名		時間数(90分)			
ネットワークシステム論		講義	演習	実習	合計
		15			15
科目概要	交通路ネットワークや物流ネットワークの構造や機能を学習し、現代社会システムの基盤をなす情報通信ネットワークの種類や構成、機能について学ぶ。				
学習到達目標	ネットワークの共通的な構造や機能に関する知識を身に付ける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	最短路	16		
	2	ラベリング法	17		
	3	最大流	18		
	4	最大流の解法アルゴリズム	19		
	5	最小費用流	20		
	6	確率分布と確率密度分布	21		
	7	呼量・呼損率	22		
	8	交通路の発展度	23		
	9	都市の地位の評価法	24		
	10	物流システムのネットワーク構造	25		
	11	最適配送ネットワーク	26		
	12	基幹回線	27		
	13	公衆通信ネットワーク	28		
	14	ISDN、企業情報通信ネットワーク	29		
	15	評価試験	30		
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	配布資料			
	副教材				
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	・科目試験(100%)		<評価基準> 100~90点：秀 89~80点：優 79~70点：良 69~60点：可 59点以下：不可		

科目名		時間数(90分)			
データベースシステム論		講義	演習	実習	合計
		15			15
科目概要	データベースシステムの基礎を学ぶとともに、代表的なデータベース管理システムであるリレーショナル型データベース管理システムを特に取り上げ、基本となる概念、データベースの設計手法、操作方法について学習する。				
学習到達目標	データベースシステムに関する基礎的な用語を説明できること。代表的なデータベース管理システムであるリレーショナル型データベース管理システム（RDBMS）に焦点を絞り、RDBMS が提供している機能を説明できること。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	データベースシステムとは ファイルとデータベース	11	実世界のモデリング	
	2	データベース管理システムとは	12	データベースの設計手法	
	3	リレーションの概念	13	データベースの実装	
	4	リレーションの正規化	14	データベースの運用と保守	
	5	SQLの基本	15	科目評価試験	
	6	SQLのデータ定義機能	16		
	7	SQLのデータ操作機能	17		
	8	問合せ処理の基本	18		
	9	副問合せと表結合	19		
	10	集合関数とグループ化	20		
使用教材	書籍名			出版社	
	主教材	ファイル編成から Web DB 環境まで 最新 図解でわかるデータベースのすべて		日本実業出版社	
	副教材				
実習環境					
目標資格	資格名			実施団体	
成績評価方法	・科目試験（100％）		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目名		時間数(90分)			
画像システム論		講義	演習	実習	合計
		15			15
科目概要	マルチメディア表現としての図形や画像・動画像の特質について学習(色の表現法、画像ファイルの特徴、アニメーションとシミュレーションの違い等)し、webブラウザ上において図形・画像が適切に処理・表現する手順を学ぶ。				
学習到達目標	画像のコンピュータにおける表現方法と、基本的な画像処理方法(幾何学的変換、濃淡変換、平滑化、鮮鋭化、エッジ抽出)を身に付ける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	デジタルカメラモデル アナログ画像とデジタル画像、画像の量子化	11	空間フィルタリング、エッジを保存した平滑化	
			12	エッジ抽出、領域に基づく変換による特殊効果	
	2	グレースケール画像とカラー画像、ベクタ表現とラスタ表現、2次元座標、同次座標	14	画像の幾何学的変換、画像の編集	
			15	JavaScriptを使った実習(画像の表示とグレースケール化)	
	3	2次元座標系における合成変換、2次元アフィン変換、3次元変換	16		
			17		
	4	投影、カメラの基礎-露出、カメラの基礎-フォーカス	18		
			19		
	5	画像のダイナミックレンジと諧調表示	20		
	6	色の表現	21		
7	画像の圧縮とファイル形式	22			
8	2次元画像の生成と描画	23			
9	ヒストグラム	24			
10	トーンカーブ	25			
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	コンピュータグラフィックス	公益財団法人画像情報教育振興協会		
	副教材				
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	・科目試験(100%)		<評価基準> 100~90点：秀 89~80点：優 79~70点：良 69~60点：可 59点以下：不可		

科目番号：H-3139

科目名		時間数(90分)			
		講義	演習	実習	合計
流通システム論		10			10
科目概要	<p>小売業の大規模化と発展によって、メーカーによる統制で作られた流通システムがどのように変化してきたのかを学ぶ。</p> <p>なお、前半はメーカーの流通活動を中心に学習し、主に自動車・家電・医薬品・書籍など、特徴的な仕組みを持つものを取り上げる。後半は小売業の経営を業態別に学習し、主に百貨店・スーパー・コンビニエンスストア・専門量販店などの身近な業態を取り上げる。</p>				
学習到達目標	<p>メーカー中心の日本の流通システムがどのように変容してきたか、また、その主要な原因であった小売業の発展を理解する。</p>				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	流通の基本概念 日本の流通システムの特徴			
	2	自動車の流通 家電の流通			
	3	医療用医薬品の流通			
	4	書籍の流通			
	5	百貨店の経営 大丸の営業改革			
	6	スーパーマーケットの起源と特徴			
	7	コンビニエンスストアの特徴			
	8	衣料品専門店とSPA			
	9	ショッピングセンターの経営			
	10	評価試験			
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	流通システムと小売経営 改訂版	千倉書房		
	副教材				
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	・科目試験(100%)		<p><評価基準> 100~90点：秀 89~80点：優 79~70点：良 69~60点：可 59点以下：不可</p>		

科目名		時間数(90分)			
		講義	演習	実習	合計
経営情報システム論		10			10
科目概要	情報処理に関する基礎概念(エンドユーザコンピューティング(EUC)ツールの活用)や経営学的な観点から情報システム(MIS)の理論的フレームワークを学習し、MISを基盤とした経営戦略について理解する。				
学習到達目標	情報処理に関する基礎概念を習得した上で、経営学的な観点から経営情報システムの変遷や、理論的フレームワークを理解する。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	情報化社会における企業経営 企業活動と情報システム	11		
	2	情報社会を支える情報技術の基盤 新たな情報処理技術とその応用	12		
	3	ナレッジマネジメント SCMにおける情報技術と組織能力	13		
	4	IT投資の効果とその測定 ビジネスプロセス	14		
	5	インターネットビジネスの戦略とビジネスモデル 消費者向けネットビジネスとインターネット・マーケティング	15		
	6	経営情報システムの諸概念	16		
	7	意思決定を支援する応用ソフトウェア	17		
	8	オフィス情報システムとEUC	18		
	9	乱数とシミュレーション	19		
	10	情報システムの運営と管理	20		
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	経営情報システム	中央経済社		
副教材					
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	・課題提出(100%)		<評価基準> 100~90点：秀 89~80点：優 79~70点：良 69~60点：可 59点以下：不可		

科目番号：H-3125

科目名		時間数(90分)			
ソフトウェア工学基礎論		講義	演習	実習	合計
		15			15
科目概要	ソフトウェア開発の課題に対処する要素技術(オブジェクト指向技術、クリーンルーム手法、リポジトリ)を学び、課題に対する方向性や基本的な考え方を学習する。				
学習到達目標	オブジェクト指向技術とソフトウェア部品化の関係を理解し、ソフトウェア部品の再利用やリポジトリの利用方法を身に付ける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	ソフトウェア開発の課題	16		
	2	オブジェクト指向と再利用アプローチ	17		
	3	責任主導型設計とCRCカード	18		
	4	MVCモデルとクラスの発見	19		
	5	UMLと開発方法論の関係	20		
	6	UMLと開発プロセスの関係	21		
	7	クリーンルーム手法の概要	22		
	8	クリーンルーム手法 仕様・設計プロセス	23		
	9	クリーンルーム手法 検証プロセス	24		
	10	クリーンルーム手法 品質保証プロセス	25		
	11	リポジトリ	26		
	12	まとめ	27		
	13	クラウドコンピューティングとソフトウェア開発	28		
	14	第1回～第13回の練習問題振り返り	29		
	15	評価試験	30		
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	図解でわかるソフトウェア開発のすべて	秀和システム		
	副教材				
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	・科目試験(100%)		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：H-3124

科目名		時間数(90分)				
ソフトウェア工学応用論		講義	演習	実習	合計	
		15			15	
科目概要	ソフトウェア工学基礎論の内容を発展させて、大規模なソフトウェア・システム開発に適用されるソフトウェア工学の実践的な適用技術について学ぶ。					
学習到達目標	実践的なソフトウェア開発技術の概要を知り、そこで用いられている代表的手法と方法論を利用して、開発時の課題解決へ導く能力を身に付ける。					
講義計画	回	内容		回	内容	
	1	ソフトウェアの性質と開発の課題		16		
	2	ソフトウェア開発プロセス		17		
	3	要求分析の課題		18		
	4	要求分析の技法		19		
	5	アプローチ、モジュール分割		20		
	6	プログラミング		21		
	7	テスト工程と設計技法		22		
	8	妥当性評価		23		
	9	オブジェクト指向分析と設計		24		
	10	オブジェクト指向プログラミング		25		
	11	ソフトウェア再利用		26		
	12	プロジェクト管理		27		
	13	品質管理と構成管理		28		
	14	ソフトウェア開発規模と工数見積り		29		
	15	評価試験		30		
使用教材	書籍名			出版社		
	主教材	図解でわかるソフトウェア開発のすべて		秀和システム		
	副教材					
実習環境						
目標資格	資格名			実施団体		
成績評価方法	・科目試験(100%)			<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：H-3115

科目名		時間数(90分)			
総合情報処理 3-2 (レベル 2)		講義	演習	実習	合計
		30			30
科目概要	総合情報処理 3-1 レベル 2 の継続科目で、経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 2：「基本情報技術者試験 (レベル 2)」シラバスに準拠した知識を習得する。				
学習到達目標	レベル 2：「基本情報技術者試験 (レベル 2)」シラバスに従い体系的に学習し、基本情報技術者試験の取得レベルの知識を身に付ける。				
講義計画	回	内容		回	内容
	1-2	サービスマネジメント/システム監査			
	3	システム戦略/システム企画			
	4-6	経営戦略マネジメント/技術戦略マネジメント/ビジネスインダストリ			
	7-12	企業活動/法務			
	13-15	模試 3			
	16-18	弱点補強 3			
	19-22	弱点補強 言語系			
	23-26	弱点補強 設計系			
	27-30	国家試験			
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	各コースで選定された対策テキスト			
	副教材				
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
	基本情報技術者試験		IPA 独立法人情報処理推進機構		
成績評価方法	・科目試験 (100%)		<評価基準> 100～80点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：H-3116

科目名		時間数(90分)					
総合情報処理 3-2 (レベル 3)		講義	演習	実習	合計		
		30			30		
科目概要	総合情報処理 3-1 レベル 3 の継続科目で、経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 3 : 「応用情報技術者試験 (レベル 3)」シラバスに準拠した知識を習得する。						
学習到達目標	レベル 3 : 「応用情報技術者試験 (レベル 3)」シラバスに従い体系的に学習し、応用情報技術者試験の取得レベルの知識を身に付ける。						
講義計画	回	内容		回	内容		
	1-6	AM対策					
	7-13	PM対策					
	14-16	模擬試験 1					
	17-20	弱点補強 1					
	21-23	模擬試験 2					
	24-30	弱点補強 2					
使用教材	書籍名			出版社			
	主教材	各コースで選定された対策テキスト					
	副教材						
実習環境							
目標資格	資格名			実施団体			
	応用情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構			
成績評価方法	・科目試験 (100%)			<評価基準> 100~80点 : 秀 89~80点 : 優 79~70点 : 良 69~60点 : 可 59点以下 : 不可			

科目番号：H-3117

科目名		時間数(90分)			
総合情報処理 3-2 (レベル 4)		講義	演習	実習	合計
		30			30
科目概要	総合情報処理 3-1 レベル 4 の継続科目で、情報セキュリティスペシャリスト試験の後継となる試験で情報セキュリティに関する高度な知識・技能(スキルレベル 4)を認定する試験である情報処理安全確保支援士試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 4:「情報処理安全確保支援士試験(レベル 4)」シラバスに準拠した知識を習得する。				
学習到達目標	レベル 4:「情報処理安全確保支援士試験(レベル 4)」シラバスに従い体系的に学習し、情報処理安全確保支援士試験の取得レベルの知識を身に付ける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1-3	AM対策			
	4-6	模擬試験 2			
	7-15	模擬試験 2 解説			
	16-18	AM対策			
	19-21	模擬試験 3			
	22-27	模擬試験 3 解説			
	28-30	弱点对策			
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	各コースで選定された対策テキスト			
	副教材				
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
	情報処理安全確保支援士試験		IPA 独立法人情報処理推進機構		
成績評価方法	・科目試験(100%)		<評価基準> 100~80点: 秀 89~80点: 優 79~70点: 良 69~60点: 可 59点以下: 不可		

科目名		時間数(90分)			
自主課題研究 3-2		講義	演習	実習	合計
			30		30
科目概要	自主課題研究 3-1 の継続科目で、各自設定したテーマにもとづいて創作(学習)活動をする。学習した内容を総合的に活用し、社会人として実践的に活用可能なテーマを個人ごとに設定し、創作(学習)活動をする。 ① 過去に習得したゲーム開発技術を応用し、自分のスキルをアピールすることができる作品の制作を目指す。 ② 高度種等の国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供する目標資格シラバスにもとづいて、各自スケジュールを管理して学習する。				
学習到達目標	所属学科によって選択するものは異なる。 ① クリエイタ系の就職活動で必須となる作品審査に提出することのできるゲーム作品を1作品完成させるとともに付随する作品紹介資料を完成させる。 ② 国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供するシラバスに準拠した知識を身に付ける。				
講義計画	回	内容		回	内容
	1-30	自主創作(学習)活動			
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	各自必要となるテキストを用意			
副教材					
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	・課題提出(100%)		<評価基準> 100~80点：秀 89~80点：優 79~70点：良 69~60点：可 59点以下：不可		

科目番号：H-3118

科目名		時間数(90分)			
総合情報処理4(レベル2)		講義	演習	実習	合計
		90			90
科目概要	経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル2:「基本情報技術者試験(レベル2)」シラバスに準拠した知識を習得する。				
学習到達目標	レベル2:「基本情報技術者試験(レベル2)」シラバスに従い体系的に学習し、基本情報技術者試験の取得レベルの知識を身に付ける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1-7	ガイダンス、基礎理論	61-62	サービスマネジメントとシステム監査	
	8-17	アルゴリズムとプログラミング	63	システム戦略と企画	
	18-22	コンピュータ構成要素	64-66	戦略マネジメント	
	23-24	システム構成要素	67-72	企業活動と法務	
	25-28	ソフトウェア/ハードウェア	73-75	模試3	
	29	ヒューマンインタフェース/マルチメディア	76-87	弱点補強3	
	30-31	模試1	88-90	国家試験	
	32	弱点補強1			
	33-38	データベース			
	39-48	ネットワーク/セキュリティ			
	49-53	システム開発技術			
	54-55	模試2			
	56	弱点補強2			
	57-58	ソフトウェア開発管理技術			
	59-60	プロジェクトマネジメント			
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	各コースで選定された対策テキスト			
	副教材				
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
	基本情報技術者試験		IPA 独立法人情報処理推進機構		
成績評価方法	・科目試験(100%)		<評価基準> 100~80点: 秀 89~80点: 優 79~70点: 良 69~60点: 可 59点以下: 不可		

科目番号：H-3119

科目名		時間数(90分)			
総合情報処理4(レベル3)		講義	演習	実習	合計
		90			90
科目概要	経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル3:「応用情報技術者試験(レベル3)」シラバスに準拠した知識を習得する。				
学習到達目標	レベル3:「応用情報技術者試験(レベル3)」シラバスに従い体系的に学習し、応用情報技術者試験の取得レベルの知識を身に付ける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	ガイダンス	76-78	模擬試験3	
	2-4	コンピュータ科学基礎	79-80	弱点補強3	
	5-7	コンピュータアーキテクチャ	88-90	国家試験	
	8-10	基本ソフトウェア			
	11-15	通信ネットワーク			
	16-20	データベース			
	21-25	ソフトウェア工学			
	26-30	システム構成技術			
	31-35	マネジメント			
	36-45	AM対策			
	46-55	PM対策			
	56-58	模擬試験1			
	59-65	弱点補強1			
	66-68	模擬試験2			
69-75	弱点補強2				
使用教材	書籍名			出版社	
	主教材	各コースで選定された対策テキスト			
	副教材				
実習環境					
目標資格	資格名			実施団体	
	応用情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構	
成績評価方法	・科目試験(100%)			<評価基準> 100~80点: 秀 89~80点: 優 79~70点: 良 69~60点: 可 59点以下: 不可	

科目番号：H-3120

科目名		時間数(90分)			
総合情報処理4(レベル4)		講義	演習	実習	合計
		90			90
科目概要	情報セキュリティスペシャリスト試験の後継となる試験で情報セキュリティに関する高度な知識・技能(スキルレベル4)を認定する試験である情報処理安全確保支援士試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル4:「情報処理安全確保支援士試験(レベル4)」シラバスに準拠した知識を習得する。				
学習到達目標	レベル4:「情報処理安全確保支援士試験(レベル4)」シラバスに従い体系的に学習し、情報処理安全確保支援士試験の取得レベルの知識を身に付ける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	ガイダンス	66-68	AM対策	
	2-3	情報セキュリティ	69-71	模擬試験3	
	4	リスクマネジメント	72-77	模擬試験3解説	
	5-12	主な侵入・攻撃方法と対策	78-90	弱点対策	
	13-18	ネットワークセキュリティ			
	19-21	電子メール、Webアプリケーション			
	22-24	認証技術			
	25-35	情報セキュリティマネジメント			
	36	シングルサインオン			
	37-38	AM対策			
	39-41	模擬試験1			
	42-50	模擬試験1解説			
	51-53	AM対策			
	54-56	模擬試験2			
57-65	模擬試験2解説				
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	各コースで選定された対策テキスト			
	副教材				
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
	情報処理安全確保支援士試験		IPA 独立法人情報処理推進機構		
成績評価方法	・科目試験(100%)		<評価基準> 100~80点: 秀 89~80点: 優 79~70点: 良 69~60点: 可 59点以下: 不可		

科目番号：H-3110

科目名		時間数(90分)					
自主課題研究4		講義	演習	実習	合計		
			90		90		
科目概要	学習した内容を総合的に活用し、社会人として実践的に活用可能なテーマを個人ごとに設定し、創作(学習)活動をする。 ① 過去に習得したゲーム開発技術を応用し、自分のスキルをアピールすることができる作品の制作を目指す。 ② 高度種等の国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供する目標資格シラバスにもとづいて、各自スケジュールを管理して学習する。						
学習到達目標	所属学科によって選択するものは異なる。 ① クリエイタ系の就職活動で必須となる作品審査に提出することのできるゲーム作品を1作品完成させるとともに付随する作品紹介資料を完成させる。 ② 国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供するシラバスに準拠した知識を身に付ける。						
講義計画	回	内容		回	内容		
	1	ガイダンス					
	2-3	学習テーマ設定					
	4-90	自主創作(学習)活動					
使用教材	書籍名			出版社			
	主教材	各自必要となるテキストを用意					
	副教材						
実習環境							
目標資格	資格名			実施団体			
成績評価方法	・課題提出1(50%) ・課題提出2(50%)			<評価基準> 100~80点：秀 89~80点：優 79~70点：良 69~60点：可 59点以下：不可			

科目番号：H-3121

科目名		時間数(90分)					
総合情報処理 5-1 (レベル 2)		講義	演習	実習	合計		
		50			50		
科目概要	経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 2:「基本情報技術者試験 (レベル 2)」シラバスに準拠した知識を習得する。						
学習到達目標	レベル 2:「基本情報技術者試験 (レベル 2)」シラバスに従い体系的に学習し、基本情報技術者試験の取得レベルの知識を身に付ける。						
講義計画	回	内容		回	内容		
	1-5	ガイダンス、基礎理論					
	6-13	アルゴリズムとプログラミング					
	14-17	コンピュータ構成要素					
	18-19	システム構成要素					
	20-24	ソフトウェア/ハードウェア					
	25	ヒューマンインタフェース/マルチメディア					
	26-27	模試 1					
	28	弱点補強 1					
	29-33	データベース					
	34-40	ネットワーク/セキュリティ					
	41-43	システム開発技術					
	44-45	模試 2					
	46	弱点補強 2					
	47-48	ソフトウェア開発管理技術					
	49-50	プロジェクトマネジメント					
使用教材	書籍名			出版社			
	主教材	各コースで選定された対策テキスト					
	副教材						
実習環境							
目標資格	資格名			実施団体			
	基本情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構			
成績評価方法	・科目試験 (100%)			<評価基準> 100~90点：秀 89~80点：優 79~70点：良 69~60点：可 59点以下：不可			

科目番号：H-3122

科目名		時間数(90分)			
総合情報処理 5-1 (レベル 3)		講義	演習	実習	合計
		50			50
科目概要	経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル3：「応用情報技術者試験（レベル3）」シラバスに準拠した知識を習得する。				
学習到達目標	レベル3：「応用情報技術者試験（レベル3）」シラバスに従い体系的に学習し、応用情報技術者試験の取得レベルの知識を身に付ける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	ガイダンス			
	2-4	コンピュータ科学基礎			
	5-8	コンピュータアーキテクチャ			
	9-12	基本ソフトウェア			
	13-18	通信ネットワーク			
	19-24	データベース			
	25-28	ソフトウェア工学			
	29-32	システム構成技術			
	33-38	マネジメント			
	39-40	AM対策			
	41-44	PM対策			
	45-47	模擬試験			
	48-50	弱点補強			
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	各コースで選定された対策テキスト			
	副教材				
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
	応用情報技術者試験		IPA 独立法人情報処理推進機構		
成績評価方法	・科目試験（100%）		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：H-3123

科目名		時間数(90分)			
総合情報処理 5-1 (レベル 4)		講義	演習	実習	合計
		50			50
科目概要	情報セキュリティスペシャリスト試験の後継となる試験で情報セキュリティに関する高度な知識・技能(スキルレベル4)を認定する試験である情報処理安全確保支援士試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル4:「情報処理安全確保支援士試験(レベル4)」シラバスに準拠した知識を習得する。				
学習到達目標	レベル4:「情報処理安全確保支援士試験(レベル4)」シラバスに従い体系的に学習し、情報処理安全確保支援士試験の取得レベルの知識を身に付ける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	ガイダンス			
	2-3	情報セキュリティ			
	4	リスクマネジメント			
	5-16	主な侵入・攻撃方法と対策			
	17-23	ネットワークセキュリティ			
	24-29	電子メール、Webアプリケーション			
	30-36	認証技術			
	37-42	情報セキュリティマネジメント			
	43-45	シングルサインオン			
	46-48	模擬試験			
	49-50	模擬試験解説			
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	各コースで選定された対策テキスト			
	副教材				
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
	情報処理安全確保支援士試験		IPA 独立法人情報処理推進機構		
成績評価方法	・科目試験(100%)		<評価基準>		
			100~90点: 秀 89~80点: 優 79~70点: 良 69~60点: 可 59点以下: 不可		

科目番号：H-3111

科目名		時間数(90分)					
自主課題研究 5-1		講義	演習	実習	合計		
			50		50		
科目概要	学習した内容を総合的に活用し、社会人として実践的に活用可能なテーマを個人ごとに設定し、創作(学習)活動をする。 ① 過去に習得したゲーム開発技術を応用し、自分のスキルをアピールすることができる作品の制作を目指す。 ② 高度種等の国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供する目標資格シラバスにもとづいて、各自スケジュールを管理して学習する。						
学習到達目標	所属学科によって選択するものは異なる。 ① クリエイタ系の就職活動で必須となる作品審査に提出することのできるゲーム作品を1作品完成させるとともに付随する作品紹介資料を完成させる。 ② 国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供するシラバスに準拠した知識を身に付ける。						
講義計画	回	内容		回	内容		
	1	ガイダンス					
	2-3	学習テーマ設定					
	4-50	自主創作(学習)活動					
使用教材	書籍名			出版社			
	主教材	各自必要となるテキストを用意					
	副教材						
実習環境							
目標資格	資格名			実施団体			
成績評価方法	・課題提出(100%)			<評価基準> 100~90点：秀 89~80点：優 79~70点：良 69~60点：可 59点以下：不可			

